



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>
共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第446号

2020年3月9日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

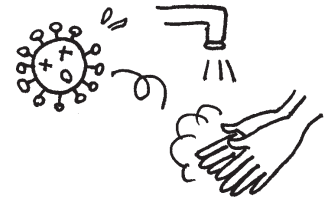
312-5

新型コロナウイルス感染拡大で深刻な影響が

2月27日、安倍首相は「全国一斉休校」の要請を発表、この一斉休校要請とともに各種イベントの中止や公共施設なども休館となり、学校だけでなく私たちの暮らしも大混乱に追い込まれました。

これまでも不十分な検査態勢やマスク・衛生関連商品の品薄などで、不安の声が上がっていましたが、一斉休校要請から「卒業式やお別れ会が出来なくなる」との悲痛な声があがっています。

さらにイベントや大型商業施設などの休止により、非正規雇用やフリーランスの方が収入減に追い込まれ、トイレットペーパーが店頭から消え、中小業者や商店の方も、お客さんの足が遠のき、売り上げが落ちているなど声が寄せられています。専門家の意見も聞かずに独断で実施している安倍首相への怒りの声が日本共産党市議団に届いています。



突然の休校で保護者のみなさんから不安の声

八千代市では2月28日、一般質問終了後に市長より一斉休校について、会派代表に説明がされました。日本共産党は「低学年の子どもたちだけでも学校で預かるべきだ」とその場で要望しました。案の定、3月2日から始まった一斉休校に対して、日本共産党市議団のもとには「保育園は関係ないと思っていたら、保育園になるべく来ないで。と言われた」「朝と晩に数時間、子どもたちだけでお留守番させないといけない。そこが不安」また、4人の乳児から児童を抱える専業主婦の方も突然のことで親子ともストレスで大変と嘆いています。

3月9日より小学校1年生から3年生までのお子さんと特別支援学級のお子さんは学校で預かる事になりましたが、あくまでも「特別な事情がある場合」とされています。保護者からは「特別な事情といわれるとやっぱり遠慮してしまう」「ほかの兄弟のこと考えると1人だけ行かせられない」「送迎がきびしい」などの声が出ています。

新型コロナウイルス感染防止に抜本的な対策を

昨年10月からの消費税10%による新たな消費不況の深まりに加え、新型コロナウイルスの感染拡大による観光客の減少。生産休止やイベント中止などで経済はいっそう冷え込み、企業の経営も国民の暮らしも危機は深刻です。さらに、感染者や行動ルート、医療体制などの情報はまったく自治体に来ないことには、市の職員も困り果てています。

日本共産党は「新型コロナの不安解消へ」国立感染症研究所を強化する。検査できる病院を増やす。中小企業への支援をして労働者の休業補償を行うこと。さらに、消費税を5%に戻して抜本的な経済対策を行うように政府へ求めています。